

学 校 運 営 計 画 (4月)				評価(3月)		
学校運営方針		校訓「至誠・自立・識見」を抛り所に、志を持って学び、心身ともにたくましく謙虚に努力し、他者を敬い、公共のために尽くす生徒を育成する。				
昨年度の成果と課題		本年度重点目標	具体的目標			
校訓「至誠・自立・識見」を抛り所に、学校教育活動全般においてここ数年にわたり着実に成果を上げてきた。平成27年度から校是「自らを高め、人のために生き、愛される存在となる」を定め本校生徒の在り方・生き方を端的に示し、創立100周年に向け更なる飛躍を目指す。つまり、生徒の心身を鍛えることを第一として、心豊かでたくましい人間の育成を目指し、21世紀を生き抜く生徒の育成に向けて、全教職員が協力・協調して組織的・計画的、より積極的に教育活動を展開する。		1 主体的に学ぶ生徒の育成	新教育課程の趣旨に基づき基礎・基本の知識・技能を修得させ、確かな学力を育成するとともに、生徒一人ひとりの習熟度に応じた質の高い授業を展開することにより、自ら学ぼうとする意欲溢れる生徒を育成する。			
		2 規律ある生活習慣の定着と感動体験の重視	さわやかな挨拶・端正な服装・時間の厳守・自転車乗車等の交通マナーの遵守・場に応じた適切な言葉遣いなどを含めた基本的な生活習慣の確立をめざすとともに、学校行事・生徒会活動及び部活動等を通して感動体験の場としての教育の充実をはかる。			
		3 高い意識での進路実現の達成	全ての生徒に自己の理想を追求させ続けるとともに、社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成するキャリア教育の充実により第一志望での進路実現を可能とする個に応じたきめ細やかな進路指導を図る。			
		4 人権教育の推進「いじめの撲滅」	「いじめの撲滅」に取り組むとともに、異なる個性や生き方、考え方や価値観を互いに認め合い、人を思いやり、自他を敬愛し、尊重する人権教育の充実を図るとともに、道徳教育のさらなる進展を図る。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題		
学習指導	教師の授業力向上	教師一人一人が、生徒の興味・関心を引き出し、学力向上を図る授業への進化を目指す。	A	A	生徒の興味・関心を引き出し、主体的に学習できる授業である「アクティブ・ラーニング」の研究及び実践を推進。 学習評価の観点別評価の各教科の具体的規準の作成及び改善。 100周年に向けて、さらなる本校の発展のため、教育課程の更なる見直しと改善。 来年度全学年実施の習熟度別クラス編成に関する評価と改善。	
		教科会議、研究授業、相互授業参観、授業評価アンケート等を活用し、積極的に自己研鑽を行う。	B			
		年間学習指導計画を十分検討し、学習到達目標を明確化する。	A			
	生徒の基本的習慣の確立及び人間力・学力の向上	二者面談や学習オリエンテーション等を活用し、生徒の学習意識を喚起する。	A			B
		毎時の授業規律を確立させるとともに、家庭学習の習慣化を図る工夫を行う。	A			
		授業を通した生徒指導を全職員で行う。	B			
	ホームルーム活動、総合的な学習の時間の有効活用	生徒指導課・進路指導課と連携し、キャリア教育・道徳教育の充実を図る。	A			A
		各学年テーマに沿ったホームルーム活動・総合的な学習の時間を全職員で指導する。	A			
		奉仕活動の取り組み等公共のために尽くす喜びを体験させる。	B			
	教育課程の改善と学校広報の充実	教育課程の評価と改善、学習評価、学習指導の在り方の検討と改善を行う。	A			A
		類型及び習熟度別編成クラスに関する評価と改善を行う。	B			
		中学生の体験入学や学校訪問等を利用し、積極的に学校広報活動を行う。	A			
生徒指導	自他を敬愛し、尊重する人権教育・道徳教育の充実	「挨拶」や「時間厳守」を励行させ、創立100周年に向けて、活気ある学校を職員全体で創り上げる。	A	A		
		いじめアンケート等を活用して生徒の生活状況を把握し、いじめの早期発見・対応を行う。	A			
		学校行事や部活動の活性化を図り、異学年間でも自他を敬愛する「絆づくり」を促進する。	A			
	規範意識の向上、自己指導能力の会得	生徒会活動を推進し、その活動を通し、自己指導力を養う。	A		A	
		職員全体でルールを守る意識を育て、生徒の規範意識の向上を図る。	B			
		二者面談等を活用し、生徒とのコミュニケーションを大切にして、人権感覚の育成を図る。	A			
	生徒会活動及び部活動の活性化	リーダー性を養い、「卒都祭」「体育祭」等学校行事の運営を通して、生徒会活動を実践させる。	A		A	
		学期毎に部活動関連の集会(結団式・激励会・壮行会等)を実施し、感動体験の場として充実を図る。	B			
		学期毎に部活動の部長等研修会を実施し、リーダー育成し各活動の活性化を図る。	A			
	交通安全教育の徹底及び社会ルールの習得	登下校指導を学期毎に実施し、規範意識を醸成し安全教育を徹底を図る。	B		A	
		自転車通学者に対し、自転車点検や通学者指導を行い、危機管理意識を高める。	A			
		交通被害者の講演会等を実施し、命の大切や社会ルールの大切さを習得させる。	A			
進路指導	進路自己決定能力の育成、職業観の育成	外部講師によるキャリア教育講演会を行う。	A	B		
		本校OBによる職業講話を行う。	A			
		自己表現能力を養うために、小論文指導を行う。	B			
	進学目的意識の明確化と具体的な目標設定	オープンキャンパスに参加させ、志望大学について研究させる。	B		B	
		「夢ナビライブ」に参加させ、大学の学問について研究させる。	A			
		外部講師による講演会を実施し、学問の先にある職業選択について考察させる。	B			
	進路第一志望の実現	スタディ・サポートの実施とその結果を基にした個人面談を行う。	B		B	
		年間の進路指導計画を作成し、長期的な視野での学力向上を図る。	B			
		2年次末に「志望校宣言」を書かせ、その実現に向けた努力を促す。	B			
	新課程入試に対応した受験指導	新課程入試に関する情報収集と、生徒・職員への適時の告知を行う。	B		A	
		課外授業に加え、進路希望に応じた特別講座を行う。	A			
		年2回の「志望校検討会」を行うことで、正確な状況把握と的確な指導を行う。	A			

研修図書	計画的かつ効果的な職員研修の実施	各分掌・学年からの要望に基づき、研修を企画・実施する。	A	B	A	授業アンケート結果の有効活用に向けて、実施方法や結果の分析方法を改善。 また、授業改善に相互授業参観を更に活用しやすくするため実施方法の検討。 現在のPTA大学視察研修やPTA講演会、職員研修は、アンケート結果からも好評であるが、保護者や教員へ最新の教育事情を提供するため、更なる充実を図ることが必要。 貸出冊数は全体的に増加しているが、学年による冊数の差が大きいことが課題			
		授業アンケートを年2回実施し、その結果を分析して授業の質の向上を図る。	A						
		相互授業参観期間を年2回設定し、全職員一人2回の参観を徹底する。	B						
		研究授業実施の手順を周知徹底し、指導案や授業内容の向上を図る。	B						
	PTAの研修活動の活性化	保護者・職員のニーズに応じた、大学見学や講演会を企画・実施する。	A	A					
		講演会等のPTA研修活動の広報を充実させ、参加者の増加を図る。	A						
		研修実施後のアンケートの回収を改善し、次回の研修に活用する。	B						
	読書指導、図書館広報活動および刊行物の充実	全学年で「朝の読書」に取り組み、図書貸し出しの増加を図る。	B	A					
		諸行事における活動を通じて、図書委員内のリーダー育成を図る。	A						
各種刊行物において、100周年に向けて内容の充実を図る。		A							
庶務	各分掌との連絡・調整及び円滑な行事の企画・運営	100周年に向けて、儀式関係行事の円滑な実施と見直しを図る。	B	B	A	入学式、卒業式等の儀式的行事の円滑な実施に向けた各分掌との連携強化。 危機管理マニュアルの確認と防災避難訓練の再検討を行い、一層の充実。 中学校PTAの学校訪問の積極的な受け入れ、学校案内等の更なる充実による広報活動の推進。 保護者との連携を深め、PTA活動を更に活性化させ、創立100周年に向けた教育環境整備の推進。 事務室との連携による奨学金等の生徒就学支援の推進。			
		年間・月間行事予定を提示し、教育活動の円滑化に寄与する。	A						
		危機管理マニュアルを見直し生徒の安全・安心な環境を整備する。	B						
	学校内外の諸活動の広報・PR活動充実	学校案内・学校ポスター等を充実させ、中学校や地域への広報を充実させる。	A	A					
		中学校PTAの学校訪問を積極的に受け入れ、本校の教育活動の周知に努める。	A						
		学校カレンダーを作成し、学校活動の充実に活かす。	A						
	PTA活動の活性化及び教育活動の充実・発展への寄与	PTA総会や役員会等の円滑な運営を行い、PTA活動の活性化を図る。	A	A					
		100周年に向けて、PTA・同窓会との連携を強化する。	A						
	生徒の就学支援や職員の職場環境向上	各種奨学金の案内や手続きを円滑に実施する。	A	A					
		職員室机・ロッカーの配置や備品等の充実を事務室と連携して実施する。	B						
	保健	学校保健活動の充実を図る	定期健康診断、健康教育増進事業の充実	A			A	A	健康診断、健康教育は保健委員会の活動を含め十分に成果が上がっており、今後も継続。 美化活動は学校周辺感謝デーが雨天のため2回とも中止となり、今後延期も含めて検討。 教育相談はスクールカウンセラー、養護教諭、担任との連携は十分行えたが、更に支援が必要な生徒に対して多面的な支援の方策を検討。
			保健室の有効利用	A					
生徒保健委員会の育成			A						
校内及び学校周辺の美化清掃に努める		全校生徒による清掃活動の徹底	B	B					
		ゴミの減量化と分別指導の徹底	B						
		学校周辺感謝デー、美化強化週間の有効活用	B						
		生徒美化委員会の育成	B						
生徒相談（カウンセリング）の充実を図る		支援を必要とする生徒の早期発見、早期支援	B	A					
		スクールカウンセラーとの連携	A						
		個人面談、アンケートの有効活用	A						
		教育相談委員会、学年教科連絡会による情報の共有化	A						
情報広報		写真・画像データの充実・広報活動の充実	学校ホームページ更新の迅速化及び更新回数の増加を図る。	B	B	B	画像データベースは充実してきたが、ホームページの更新が、後半滞った。更新のマニュアル化等の推進が必要。		
	諸行事・部活動等の画像データのデータベース充実を図る。		A						
	広報活動のための取材の強化を図る。		B						
	校務用パソコン・ネットワークの管理・ICT活用の充実	校務用パソコン等の機器の補修維持管理・ネットワーク維持管理を徹底する。	B	A					
教育用ICT教材の活用促進を進める。		A							
人権教育	人権教育の観点から、自立・自己実現を図るための支援の充実	進路指導部と連携し、キャリア教育を推進する。	A	B	B	各授業において、どこの単元でどのような人権教育に関する内容を取り扱い、生徒一人ひとりに何を身につけさせるかを、年間できりまとめた人権教育に関するシラバスの作成等の検討が必要。			
		各授業の中で人権教育を意識した取り組みを行う。	B						
		様々な教材を通し、個々の問題の意識化とその解決のための技能を育成する。	B						
	社会や学校における人権問題の把握を行い、人権意識を持った教育の遂行	校外の様々な研修会の案内を、すべての教師に伝達し、参加を促す。	B	A					
		人権教育学習会の準備から実施に至るまで、計画的に行う。	A						
		自尊感情や他者を思いやる気持ちを育成し、いじめの撲滅を目指す。	A						

註 評価 A 達成できた B ほぼ達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった